

様式第7号（第11条関係）

TOMOSHIBIプロジェクト事業実績報告書

令和3年3月31日

（宛先）静岡市長

所在地	静岡市葵区駿府町1番70号
名称	特定非営利活動法人
報告者	静岡県ボランティア協会
代表者の氏名	理事長 小野田 全宏
電話番号	054-255-7357



令和3年3月5日付け02静市市第4120号により補助金の交付の決定を受けた事業が完了した
ので、静岡市TOMOSHIBIプロジェクト補助金交付要綱第11条第の規定により、次
のとおり関係書類を添えて報告します。

- 1 交付決定額 450,200円
- 2 事業完了年月日 令和3年3月20日
- 3 添付書類
 - (1) 事業実績書（様式第8号）
 - (2) 収支決算書（様式第9号）



事業実績書

事業名称	映画で東日本大震災を追体験し、被災地に想いを馳せる 「TOMOSHIBIプロジェクト」
事業実施期間	2021年3月6日 ～ 2021年3月20日
実施場所	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール しずぎんホールユーフォニア
総事業費	471,355円
事業目的	プロジェクト名の「TOMOSHIBI」はTohoku（東北）、Movie（映画）、Shizuoka（静岡）、Bind（結びつける）の頭文字で、東日本大震災をテーマに製作された映画によって東北の被災地と静岡を結びつけたいという願いが込められています。 東日本大震災を追体験することで震災の風化を防ぎ、災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、いつか起こる南海トラフ沿いでの地震に対して準備を進めるきっかけをつくることを目的に、静岡県内にて映画の上映会を実施いたします。
事業内容	<p>岩手県大槌町に実在する“天国に繋がる電話”をモチーフに製作された映画「風の電話」の上映会を静岡市内で実施いたしました。</p> <p>◆第1回上映会 日 時：2021年3月6日（土）14:00～17:00 会 場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール （静岡市駿河区馬淵1丁目17-1） 定 員：170名 参加者：166名（ボランティア・スタッフ含む） ゲスト：佐々木格さん（風の電話）※ビデオメッセージ</p> <p>◆第2回上映会 日 時：2021年3月20日（土・祝）13:00～16:00 会 場：しずぎんホールユーフォニア （静岡市葵区追手町1-13） 定 員：200名 参加者：156名（ボランティア・スタッフ含む） ゲスト：中川優芽さん（小学校教諭）※来場</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者は会場定員の50%に限定し、事前申込制で実施いたしました。また、マスクの着用や体調チェックシートの記入、間隔をあけての着席、換気などの対策を講じたうえで実施いたしました。</p> <p>ミニ講演会については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況から、第1回のゲスト佐々木さんはビデオメッセージで実施いたしました。第2回のゲスト中川さんは予定通り来場し、実施いたしました。</p>

	<p>上映会当日には、学生がボランティアとして参加（第1回40名、第2回21名）し、設営・運営にご協力いただきました。</p> <p>学生ボランティア（両日） ・静岡サレジオ高等学校 ・静岡福祉医療専門学校</p>
<p>事業を実施したことによる効果や影響</p>	<p>東日本大震災から10年となる3月11日近辺での開催ということから、多くの参加申込をいただき、関心の高さがうかがえました。アンケートからは「決して忘れてはいけない」「何ができるか考え協力したい」といった声が多く、風化防止の一助となったと考えます。また「静岡も他人事ではない」という声から、災害を“自分事”に置き換え、防災意識の向上を図ることもできたと考えます。参加した学生ボランティアからは「大震災を忘れずに語り継いでいけたら」「多くの人とその体験をしたことを忘れずにいたい」といった声が聞かれ、伝承の一助となったと考えます。</p>

様式第9号（第11条関係）

収支決算書

団体名 特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

収入		支出	
TOMOSHIBI プロジェクト補助金	450,200	賃貸料	
自主財源	21,155	上映会会場費	
		3/6 あざれあ	29,800
		3/20 ユーフォニア	63,250
		スクリーン設置料	55,000
		広告宣伝費	
		チラシ印刷代	18,444
		啓発用資材代	192,610
		印刷費	
		当日資料印刷代	36,421
		消耗品費	
		クリアファイル代	66,220
		庶務費	
		行事用保険料	8,400
		送金手数料	1,210
計	471,355	計	471,355